

卒業生イベント2025のお知らせ

11.01 ホームカミングデー
(SAT)

日時: 11月1日(土) 11時~12時(予定)
場所: 横浜市立大学 金沢八景キャンパス

「浜大会大交流会2025」(市大同窓会主催)も同日開催!

11.29 卒業生のための
(SAT) オープンキャンパス

日時: 11月29日(土) 11時~16時
場所: 横浜市立大学 金沢八景キャンパス

「理科系大同窓会2025」も同日開催!



イベントに関する
詳細はこちら



2025
August
vol.16

横浜市立大学の“今”をお届けする

YCU 通信

一般社団法人進交会(横浜市立大学同窓会/浜大会)への 卒業生名簿情報提供について

横浜市立大学は、大学と同窓会とがより一層協力して卒業生連携事業を進めるため、大学が保有する卒業生の名簿情報を同窓会組織である一般社団法人進交会(横浜市立大学同窓会/浜大会)へ2026年春頃に提供することを予定しています。大学から同窓会へ提供する個人情報は、本学卒業生に関する以下の項目です。

氏名(旧姓の情報を含む) | 住所 | 卒業年 | 卒業した学部・学科/研究科・専攻

ご自身の個人情報を同窓会へ提供することに同意しない方は、以下の方法により2025年12月25日までに大学までお申し出くださいようお願いいたします。なお、個人情報の提供に同意しなかった場合に不利益を受けることはありません。

同窓会への個人情報提供に
同意しない方専用フォームへの入力

QRコードからアクセスし、ご自身の情報をご入力ください。



卒業生・基金担当へE-mailで連絡

メール件名を「同窓会への個人情報提供について希望しません。」とし、
①お名前、②卒業年(わかる方のみ)、③卒業した学部、学科/研究科、専攻
を本文に記載のうえ、「obog@yokohama-cu.ac.jp」へ送信してください。

卒業生・基金担当へ電話で連絡

卒業生・基金担当(045-787-2026)まで電話でご連絡ください。平日のみ
9~17時の受付となります。

※8月13~15日は大学一斉休業のため受付できません。

住所変更/「YCU通信」送付停止手続き

住所変更、「YCU通信」の送付停止をご希望の方は、右記のQR
からフォームへの入力をお願いいたします。



YCU通信 バックナンバー



横浜市立大学 卒業生担当

〒236-0027 横浜市金沢区瀬戸22-2 TEL: 045-787-2026 E-mail: obog@yokohama-cu.ac.jp

2025年8月発行

特集

地域中核・特色ある 研究大学強化促進事業

「J-PEAKS」の推進

[ジェイ・ピークス]

横浜市立大学卒業生担当

Facebook ページ YCU.alumni

Facebook 横浜市立大学卒業生担当

検索



LinkedIn

横浜市立大学カレッジページ

LinkedIn 横浜市立大学

検索



理事長メッセージ

創立100周年に向けて

皆様には、日頃から横浜市立大学に温かなご支援をいただきありがとうございます。

本学は、2025年1月に文部科学省「地域中核・特色ある研究大学強化促進事業(J-PEAKS)※」に採択されました。J-PEAKS事業の好スタートを切るため、2025年度は大学全体の研究力向上に向けて執行体制を強化するなど大学一丸となって取り組みます。J-PEAKS事業の推進を通じ、地域社会の中核的な研究大学としてイノベーション創出を通じた社会変革を牽引することを目指してまいります。

急速な少子高齢化の進行や物価高により、大学・病院を取り巻く状況は変化し、本学の経営状況はますます厳しい状況が続いています。自律的かつ持続可能な法人経営を実現し、YCUミッションのもと教育、研究、医療をさらに推進するため、決意をもって改革を進めてまいります。

2028年には、横浜市立大学創立100周年を迎えます。これまで、周年事業を推進するなかで折に触れて横浜市立大学の歴史を振り返る機会があり、草創期から現在に至るまで様々な困難を乗り越えて今があるということを再認識しました。改めて皆様への敬意と感謝を申し上げます。100周年という節目を迎えてさらに、市民の誇りとなる大学の存在意義を高め、横浜市民はもとより、広く国際社会に貢献する大学・病院となるよう努めてまいりますので、大学へのより一層のご支援を賜りたく、よろしく願い申し上げます。



近野 真一
SHINICHI KONNO

公立大学法人
横浜市立大学 理事長

※地域中核・特色ある研究大学強化促進事業(J-PEAKS)：日本全体の研究力の発展を牽引する研究大学群の形成のため、地域中核・特色ある研究大学に対し、強みや特色ある研究力を核とした戦略的経営の下、研究活動の国際展開や社会実装の加速・レベルアップの実現に必要な環境構築の取組を支援する事業(詳しくは⇒p4へ)

DONATION

YCU100募金「大学一任」 ご支援のお願い

2028年に創立100周年を迎える横浜市立大学へ皆様からのご支援をお願いいたします。皆様からいただいたご寄附は、YCU Vision 100を達成するために大切に活用させていただきます。

YCU100募金 Webサイト



YCU Vision 100についてはこちら



経営状況について

文科省の試算では、少子化により2050年に全大学の入学定員を現状維持とした場合、その3割が埋まらなくなるとされています。すでに私立大学だけではなく地方国立大学でも定員割れ(志願倍率1倍未満)を起こしている学部も出始めており、大学を取り巻く環境は悪化している状況にあります。

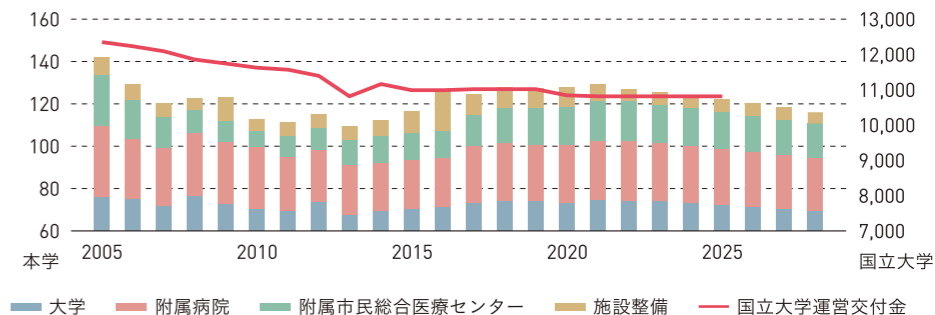
本学は平成17年度に地方独立行政法人化され、横浜市の一部局から独立し、公立大学法人となりました。これにより、経営面では運営交付金(使途制限なし)の交付により、自律経営を柱とした制度に変更されました。しかしながら、運営交付金は、横浜市の大変厳しい財政状況を踏まえ減少しており、今後も増額が見込めない状況が続くと考えられます。

運営交付金の減少は他の国立大学でも同様で、外部研究費の獲得や経費節減等により対応してきた結果、国や企業等からの研究費の獲得は増加し、特定プロジェクトの成果は上がっている状況にあります。一方で外部研究費は使途が特定されており、自由に活用することができません。旧帝大レベルの大学でも言われていることですが、使途制限のない運営交付金の減少により、いわゆる「日々の生活費」が不足している状況にあり、学生教育、研究等の基盤的経費に徐々に影響が出ている状況です。

ご寄附は、使途をご指定いただいた場合はしっかりと活用いたします。また、使途をご指定いただかない場合も、現在不足している学生教育の充実などの基盤的経費に充てる予定ですので、ご支援を賜りますようお願い申し上げます。

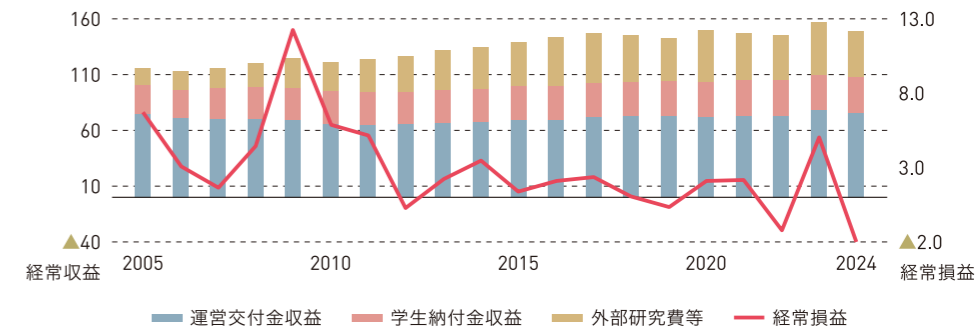
● 運営交付金推移 (単位: 億円)

中期計画上、2028年度まで運営交付金が減額となる予定です。



● 大学部門の収入構成と経常損益の推移 (単位: 億円)

外部研究費は拡大してきましたが、経常損益が好転したわけではありません。



特集：

地域中核・特色ある研究大学強化促進事業（J-PEAKS）の推進

2025年1月に、本学は文部科学省が実施する「地域中核・特色ある研究大学強化促進事業（J-PEAKS）」に採択されました。この事業は、地域に根ざしながらも、世界に通用する研究力を持つ大学を支援することを目的としており、全国でわずか25大学のみが選ばれた非常に競争率の高い事業になります。支援期間は5年間で、最大55億円の支援が受けられる大型プロジェクトとなっており、毎年5億円の戦略的実行経費に加え、研究設備等の整備に活用できる30億円が含まれています。

J-PEAKSでは、次の3つの機能を備えた大学が対象とされています。第一に、特定の学術分野において卓越した研究をさらに発展させる機能。第二に、地球規模の課題解決や社会変革につながるイノベーションを創出する機能。そして第三に、地域産業の生産性向上や雇用創出を牽引し、地方自治体、産業界、金融機関などと連携して、地域課題の解決を主導する機能です。これらの機能を持つ大学が、得意分野を核として活動を拡張し、他大学との連携を深めながら、研究大学群としての発展をリードすることが期待されています。

J-PEAKSに採択された大学には、10年後の理想的な大学像（ビジョン）を明確に描き、その実現に向けた戦略的なプロセスを構想することが求められます。単に研究を進めるだけでなく、研究成果を社会に還元し、国際的な展開を図るとともに、他大学や地域との連携を通じて、社会実装の加速や研究の高度化を図る必要があります。これらの取り組みは、大学全体で一丸となって推進

することが求められています。

本学では、10年後のビジョンとして「共創を加速する『よこはまデータサイクル』」を構築し、未来社会における高いヘルスウェルビーイングを実現することを掲げています。



「よこはまデータサイクル」とは、横浜市が保有する多様なフィールドデータ、たとえば医療情報や市民生活に関するデータなどを活用し、本学と横浜市が一体となって、より良い未来社会を創り出していく循環的な仕組みを指します。この仕組みを活用し、データをもとに将来の課題を先取りし、最適な解決策を創出・選択する手法を横浜市内で開発し、その成果を国内外に広く展開することで、健康で幸福な社会（ヘルスウェルビーイング）の実現に貢献することを目指しています。このビジョンの実現に向けて、本学では以下の3つのターゲットを設定しています。

●ヘルスウェルビーイング分野における卓越研究を戦略的に加速するための組織強化

研究体制の整備や研究人材の育成を通じて、国際的にも競争力のある研究拠点の形成を目指します。

●大学の研究成果と社会課題の解決をつなぐイノベーションの創出

研究成果を社会実装へとつなげるための仕組みを構築し、地域や企業との連携を強化します。

●産学官民の連携による知識集約型社会の形成

大学、企業、自治体、市民など多様な主体が連携し、知識とデータを活用した持続可能な社会の実現を目指します。

これらのターゲットに基づき、8つのアクションプランを策定し、12のワーキンググループを設置しています。学長のリーダーシップのもと、大学全体でこのビジョン「共

創を加速する『よこはまデータサイクル』」を構築し、未来社会における高いヘルスウェルビーイングを実現する」の実現に向けた改革を力強く推進していきます。

●参画機関（50音順）

- ・学校法人神奈川大学
- ・公立大学法人神奈川県立保健福祉大学
- ・学校法人神奈川大学
- ・公立大学法人神奈川県立保健福祉大学
- ・学校法人関東学院 関東学院大学
- ・学校法人慶應義塾 慶應義塾大学SFC研究所
- ・学校法人慶應義塾 慶應義塾大学大学院メディアデザイン研究科
- ・公益財団法人実中研
- ・国立大学法人東京工業大学（現 国立大学法人東京科学大学）
- ・国立大学法人東京大学先端科学技術研究センター
- ・スタンフォード大学 アジアヘルスリサーチ&エデュケーションセンター（Stanford University, Center for Asian Health Research and Education）
- ・ルール大学ポーフム ソーシャルサイエンス学部（Ruhr University Bochum, the Faculty of Social Science）

●ロゴマーク



COLUMN

「STUDIO YCU」は学生、卒業生、教職員がアントレプレナーシップ（いまの常識をもっと優しいものに変える営み）とスタートアップ（起業）に真摯に向き合い、「学生が安心して夢になれる居場所づくり」を目指して2024年6月に第1回を開催以降、年3回の頻度で開催している本学主催、「市大サポーターグループ」後援のイベントです。

これから起業を目指す学生が企画したユニークなアイデアや目指す未来について熱く語る姿に、起業の最前線で活躍す

る卒業生からの鋭い質問やアドバイスも飛び交い、参加者全員にとって貴重な学びの機会となっています。



STUDIO YCU 開催中！



伊藤 智明

CHIAKI ITO

国際商学部 准教授

STUDIO YCUを横浜市立大学の学生が自分たちのプロジェクトに夢中になれる空間にしたいと考えています。STUDIO YCUに参加する卒業生（起業家など）や教職員には、学生たちが発信する「ことば」を聞くこと、学生たちの振る舞いの一挙手一投足を見ることを通じて、彼ら、彼女らのプロジェクトが実現する「プロセス」に立ち会ってもらうことになります。学生、卒業生、教職員による「並ぶ関係」での語り合いを大切にすることで、「横浜市立大学」が媒介となる関係づくりにつなげています。

STUDIO YCUの詳細はこちら



2024年関東学生ホッケー春季リーグで二部2位、かつ七年ぶりの一部昇格！

前年度のキャプテンがケガの影響で十分にプレーに参加できない中でも、試行錯誤を重ねながらチームを引っ張っていただきました。チーム全員でつかみ取った「一部昇格」は本当に嬉しかったです。そして毎試合、足を運び応援して下さるOB・OGの方々の存在も、大きな力になりました。現在キャプテンを務める私は「目的意識を持つこと」を大切にしています。練習の一つひとつに意味を持たせ、改善点を明確にしてチームと共有することを心がけています。目標は一部リーグで勝てるチームになること。前年度キャプテンの想いを受け継いでこれからも挑戦を続けていきます。そしてより多くの方々にホッケーの楽しさを知っていただけたら嬉しいです。



後藤 凜音さん
RION GOTO

女子グランドホッケー部
主将
国際教養学部3年



「上手な医療のかかり方アワード」で厚生労働大臣賞(最優秀賞)を受賞！

横浜市民の皆さまに向けた医療についての啓発活動を評価いただき「上手な医療のかかり方アワード」で厚生労働大臣賞(最優秀賞)を受賞いたしました。

以前より医学部YDCは学校や地域での医療に関する訪問授業を継続的に行ってまいりました。訪問授業のテーマは、この度評価いただいた医療の利用の方法だけではなく身体の仕組み、科学的な実験・考察、キャリア形成など様々なものがあり、多様な視点で医療を扱っています。受賞をきっかけに活動の輪を広げて参りたいと思っておりますので、引き続きご指導・ご支援の程よろしくお願いたします。



富田 潤さん
JUN TOMITA

医学部YDC代表
医学部医学科5年



みらいにつなぐ市大の歴史



2028年の創立100周年に向けて、今年度(2025年度)はいよいよ百年史本体の制作に入ります。

YCU HISTORY

01 百年史編纂 Webサイト公開

「The 100th anniversary is coming!」や「みらいにつなぐ市大の歴史」リーフレット、デジタルアーカイブなど、全部まとめて見られたらいいの…というご要望にお応えして、Webサイトを公開しました。

百年史編纂 Webサイト



02 The 100th anniversary is coming! 刊行



2024年11月、本学の魅力を120%凝縮したリーフレットを作成しました。ぜひご覧ください。

The 100th anniversary is coming!



03 みらいにつなぐ市大の歴史 Vol.6 発行!

本学の歴史を紹介するリーフレット「みらいにつなぐ市大の歴史」の最新号vol.6を今年度も発行しました! vol.7は12月発行予定です。



04 横浜市立大学周年史デジタルアーカイブ公開中

現在の収録資料点数は、3,254点です。市大の思い出、また、昔の浜大祭の写真や校舎等、「懐かしい市大」をご覧ください。



横浜市立大学周年史
デジタルアーカイブ



THANKS MESSAGE

血管内治療シミュレータを購入しました!

2021年より血管内治療シミュレータ導入を目標に募金活動を始めましたが、この度、多くの皆様にご支援により導入することが出来ました。このシミュレータは循環器内科、脳神経外科、放射線診断学、消化器内科など多く科で行われている血管内治療や診断の手技を学ぶことが出来ます。医師はもちろんですが、初期研修医や医学生まで多くの方々のトレーニングに活用してまいります。ご支援を賜りました皆様に、心より感謝を申し上げます。

シミュレーションセンター長 秋山 浩利

